

Grandparents' Programs and Intergenerational Issues in Japan:


Exploring grandparents' experiences
in intergenerational interactions

Presented by: Fusako Ishibashi

Japan Intergenerational
Unity Association (JIUA)

お年寄りの知恵と経験を 世代間交流活動のなかで どう生かすか

日本における
世代間交流活動の現状

- 
- I. データから見た社会的背景
 - II. 日本の世代間交流の現状と実例
 - III. 他文化の目からみた日本の
世代間交流活動 (DVD)

I. (1) 人口の高齢化

- * 総人口の22.7% が 65才以上(2009)
5人に1人が65歳以上 高齢化率 22.7%
- 2.5人に1人が65歳以上 (2055) 高齢化率 40.5%
- 平均寿命

| | 男性 | 女性 |
|------|--------|--------|
| 2008 | 79.29才 | 86.05才 |
| 2055 | 83.67才 | 90.34才 |

(2) 高齢者を取り巻く環境

① 家族と世帯の変化

| | 1985 | 2008 |
|-------|-------|-------|
| 三世代世帯 | 45.9% | 18.5% |
| 一人暮らし | 12% | 22% |
| 夫婦のみ | 19.1% | 29.7% |

(2) 高齢者を取り巻く環境

②福祉

- 要介護者数は急速に増加
437.8万人 (2007)
- (同居)介護者
配偶者 25.0%
- 介護者の7割が女性(71.9%)

(3) 高齢者の社会的孤立 ⇒「生きがい」の低下

- * 60才以上の約9割が
「毎日会話がある」
「困ったときに頼れる人がいる」
「友人、近隣との付き合いがある」

しかし

- * 一人暮らし、健康状態のよくない人、未婚や離別した人、暮らし向きの苦しい人はいずれの項目にも否定的

(4) 政府の高齢社会対策の例

- (1) 就業・所得の支援
- (2) 健康・福祉関係の支援
- (3) 学習・社会参加の支援
- (4) 交通機関、建築物、道路などのバリアフリー化など

国の高齢社会対策はまだ環境整備にとどまっております、高齢者の心の問題、生きがいの問題には達していない

II. 日本の世代間交流の現状と実例

現状

- ◆ 民間ベースで、ゆっくりと自然発生的に進んでいる
- ◆ 大学の役割の変化
- ◆ 地域社会で、お年寄りの知恵と経験を活かすニーズが高まっている

II. 日本の世代間交流の現状と実例

◆民間ベースで、ゆっくりと自然発生的に進んでいる

多くの幼老共同施設は、限られた土地の有効利用という観点からはじめられた場合が多数

◆大学の役割の変化

- * 最早、大学は知識や情報のみを得る場所ではない
- * 本物の経験を通して、人間としての成長を学ぶ場所
- * 本物の文化的経験を直接学ぶため、外部の人材と学校をつなぐことが大切

◆ 地域社会で、お年寄りの知恵と経験を活かすニーズが高まっている

- * 今までに、誰も経験したことのない問題を解決するために多くの人の助けが必要である
- * 地域の活性化には、お年寄りの知恵と経験は不可欠である

世代間交流活動の実例

- * 日本世代間交流協会 (JIUA)
- * 環境教育・文化伝承に焦点を当てた交流活動
たかつかさ保育園 (京都)
- * 幼老統合ケア 三世代交流共生住宅
認知症老人の力を学童保育に活かす施設：
ひかりの里(桑名)
- * 幼老同居施設： 東京 江東園

日本世代間交流協会 (JIUA)

Japan Intergenerational Unity Association

- 研究会、調査等を行い情報交換をする
- 「世代間交流コーディネーター養成講座」を開講
- 国内外における世代間交流の情報収集とネットワーク作り
- 地域との連携を視野に入れた世代間交流活動の研究・提案・推進 など



TAKATSUKASA NURSERY SCHOOL

京都：たかつかさ保育園
世代間交流にみる環境教育・文化の伝承







桑名： ひかりの里 認知症老人の力を子育てに生かす

* 幼老統合ケア
三世代交流 共生住宅



世代間交流活動を成功させるための 具体的な工夫の例

- ①かまどを使ってご飯炊き
- ②中庭の農園(畑)で野菜づくり
- ③手作りおやつ
- ④食事を共同で作る(休校日) 一緒に食べる
- ⑤学習、宿題
- ⑥合同誕生会
- ⑦体操。昼寝
- ⑧一緒に遊ぶ(伝承遊び、将棋、百人一首など)
- ⑩居間で子どもをうけいれる生活交流
- ⑪イベント(運動会、夏祭り、クリスマスなど)
- ⑫外出(散歩など)







おじいちゃん・おばあちゃんと学童保育の子どもたちが一緒に外出

KOTOEN

東京 江東園



幼老同居施設



元気なおじいちゃん・おばあちゃんの
経験を世代間交流活動の中でどう活かすか

地域で中心になって活躍してもらうための 研修

- さわやか財団「インストラクター養成事業」
- 江戸川区立「江戸川総合人生大学」
- 六大学コンソーシアム学校支援人材
養成事業

元気なおじいちゃん・おばあちゃん の社会参加

* 共助の仕掛

地域通貨

* 地域ボランティア

三世代子育て支援事業 (WAC)

学校・地域での参加

りぷりんと 他

むすび

民間ベースでゆっくりと自然発生的に進んできた日本の世代間交流活動は、今後、効果評価などを伴う体系的な政策立案が必要とおもわれます。

日本の世代間交流の今後更なる発展のためには、行政による方向づけと、有形無形の公的支援が望まれます。

ご静聴ありがとうございました

またお会いしましょう！

再 会